

映像を使って授業をつくろう

—持続可能な農業、漁業、働き方をテーマに

アジア太平洋資料センター(PARC)が制作している映像作品を鑑賞し、私たちの社会や暮らしに何が起こっているのかを考えるクラスです。小学校で長年開発教育に携わってきた千葉保さんを講師に迎え、「食べ物」や「働き方」などをテーマに社会について考察を深めます。また、さまざまな教育の現場で、映像作品を使って効果的な学びの場を作る方法やテクニックを検討します。想定する学習対象者は小学生から大人まで。それぞれのレベルにあわせて、学ぶ側が興味を持つしっかり考え、問題と向き合うことのできる授業のつくり方のコツを考えます。学校教員だけでなく、開発教育や環境教育に興味のある方や、国際協力にかかわるNGO/NPO関係者、ファシリテーターにも適したクラスです。もちろん社会全般に関心があり、そのことについて討議してみたいという方も大歓迎です。

■2013年6月～12月 ■基本的に第1または第2火曜日 19:00～21:00
■全6回/定員30名 ■受講料：20,000円

講師＆コーディネーター：千葉 保（國學院大學非常勤講師）

原発問題は捨て置き、景気のいい大盤振舞い。憲法改正などの右傾化。対抗するには自分の意見を確立し、対案を用意することが急務です。PARCのDVDを手がかりに、生活や授業を考えていきましょう。

●主著：『エネルギー・放射線の授業』太郎次郎社エディタス 2011/『食からみえる「現代」の授業』太郎次郎社エディタス 2011 ●参考文献：千葉保『コンビニ弁当16万キロの旅』太郎次郎社エディタス 2005/『お金で泣かない本』太郎次郎社エディタス 2011



日程
6月4日
7月2日
9月10日
10月8日
11月12日
12月10日

クラスで扱うビデオ

有機農業で生きる —わたしたちの選択

(監修：大江正章 / 監督：岩崎充利 / 36分 / 2012)

農薬や化学肥料への依存、放射能汚染、環境破壊。農と食に問題をかかる現代社会をどう変え、どう生きればいいのか？その答えのひとつは「有機農業という生き方」の中にある。本来の農業である有機農業は、土や水をはじめ自然の恵みを大切にする、持続可能な営みである。



ブラック企業にご用心！

—就活・転職の落とし穴

(監督：土屋トカチ / 監修：ブラック企業大賞実行委員会 / 35分 / 2013)

近年注目されている「ブラック企業」。法律を無視し、労働者を搾取し、その尊厳を奪う企業を指す。長時間労働や過労死などの実例について、当事者やご遺族へのインタビュー、識者の分析・提言を交えながら、ブラック企業の実態を明らかにする。すぐにできる対処法から中長期的な社会変革まで、その対策を探る。



※2013年3月末発売予定

食卓と海

(企画：井上礼子 / 構成：鈴木敏明 / 35分 / 2009)

魚や貝、海藻など、海の恵みは、古くから私たちの食卓を支えてきた。今、水産資源の枯渇が世界中で懸念されている。魚を食べられなくなる日がやってくるのか。本作品では、資源を奪いつくす大規模な漁業と流通・消費の仕組みを分析。資源を守りながら利用している人びとの取り組みに注目する。



※アジア太平洋資料センター(PARC)では世界の現実をとらえ、社会を見つめなおす視点を提供する映像作品を制作・販売しています。図書館や大学、開発教育の現場などで活用されています。詳細はPARCのウェブサイトをご覧ください。

飛び出せ！ 自由学校クラブ

自由学校クラブは、「やりたい」と思った受講生有志が自主的に集まり、呼びかけ、活動の中身やスケジュールをつくっていく、いわば「自由学校の課外サークル」です。2013年3月現在、6つのグループが活動中！ クラスの中で、クラスを超えて、仲間を募って楽しく意義ある活動を始めてみませんか。

- 各クラブへのお問い合わせ・参加申し込みや、新しいクラブの立ち上げについてはPARC自由学校までご相談・ご連絡ください。
- 自由学校クラブに対しては、自由学校教室が1時間500円で使用可（ただしクラスで使っていない場合のみ）になったり、活動やイベント案内を受講生全員やPARC会員に発信したり、講師を紹介したりなどのサポートを、PARCが行います。
- 自由学校受講生以外の方が参加できるクラブもあります（詳細はお問い合わせください）。

戦後史を学び、展望を模索する会

- 基本的に月1回、月曜日 19:00～21:00
- 代表：2007年度「検証戦後史」クラス受講生有志

「戦後60年、なぜ日本はこんなにひどいことになったのか」。これが、2007年度の「検証戦後史」クラスの出発点でした。講座が終わつたとき、私たちは、最初の問い合わせへの解答の代わりに、新しい疑問の山を抱いていました。それ以来、幕を引きたくない仲間が、月に1回集まって、読書会の席に著者を招くというやり方を続けているのがこの自主クラスです。手応えのある主題と、伸び伸びとした議論が中身の、誰にでも開かれた楽しい集まりです。

現代短歌を読む・詠む

- 基本的に毎月第2月曜日 13:00～
- 参加費：月2,000円
- 講師：久々湊盈子（歌人／現代歌人協会会員／文芸家協会会員／歌誌『合歡』発行人）
歌集『あらばしり』（砂子屋書房2000）、『鬼龍子』（角川書店2007）、『風羅集』（砂子屋書房2012）など8冊
- 短歌を作るということは、すなわち、自分を考えることです。言葉を考え、社会を考え、生きている意味を考えることです。すぐれた短歌を読み、自己表現の手段として短歌を作つてみませんか。まったく初めて、という方も大歓迎です。

高松田んぼの会

- 基本的に月1回
- 世話人：大江正章（コモンズ代表）
黒岩竜太（10年度～「東京で農業！」現場インターン）
- 費用：交通費実費。車で来られる方も歓迎です。
- 連絡先：info@commonsonline.co.jp



高松田んぼとは茨城県石岡市にある36アールの共同田んぼです。始めた人の名前にちなんで、こう呼んでいます。この会では、米づくり全般をメンバーが協力して行います。農薬と化学肥料は一切使いません。田植えはすべて手植え、稲刈りはバインダーという簡単な機械と手刈りです。活動日は基本的に土・日で、現地に集合して一緒に作業を行います。もちろん参加できる日だけで結構です。作業はベテランの方々が優しく丁寧に教えてくれますので、全くやったことのない人でも大歓迎。米作りを体験したい人、半農半Xを目指す人、自然が好きな人…どなたでも気軽にご連絡ください。

日程：3月下旬～4月上旬 種播きの準備と種播き／4月中・下旬 畦の整備など／5月下旬 田植え／6月上旬～7月中旬 草取り／9月下旬 稲刈り／10月上旬 脱穀／11月中旬 収穫祭（餅つきあり）
※収穫したお米はみんなで購入できます。（白米／玄米／もち米）

テレビさようならクラブ —「テレさよ」の進化を！

- 基本的に3ヵ月に1回
- 代表：コーシンジヤ（PARC会員／自由学校受講生／2012年度自由学校企画委員）
- 会長：お宿吉水女将

クラブも5年目になりました。昨年はUターンした会員のものを訪ね、長野県松本市の有機野菜食とエコライフをコンセプトにした民宿でミニ合宿を開催しました。今年も合宿を企画し、多くの会員で集いたいと思っています。そして、「テレさよ」は脱原発・脱電力・脱成長への手短かな路であるとともに、バーチャルな仮想電界ではなくバイオで生の「天地人」と遊ぶ最良のキッカケでもあることを確かめたいものです。



明日の日本社会を考える会

- 基本的に月1回
- 世話人：「世界のニュースから国際情勢を読み解こう」クラス受講生有志
いまの日本社会が直面しているさまざまな課題の問題点や背景の理解を深め、解決策を模索し、目指すべき将来の姿をみんなで考えていくというグループで、2012年4月に発足しました。みんなの話し合いで毎回のテーマを決めており、これまで「エネルギー問題」「雇用問題」「貧困と豊かさ」などについて議論をしてきました。未来志向で、自由に意見交換ができる楽しいサロン的な場所です。みなさんの参加を、大いに歓迎します！